



不思議ふしぎ!?

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることには日本を理解すること。

京都好きを大好きに

10th anniversary



京都・観光文化検定試験 京都商工会議所

第10回 京都検定は 12月8日(日)

京にも四谷があつた!?

四谷といえば有名な東京の名。「東海道四谷怪談」でも知られます。そんな「四谷」が京都にもあるってご存じですか?

のミイラが安置されているのです。

の美女に世話をさせた著名な灯籠堂に由来します。

ここにあり人物の墓があります。その名は桑原空洞居士。かつて木下長嘯子、石川丈山と並ぶ隠遁者として知られ、良寛、慈雲とともに近代僧侶の三筆と謳われた岡山の寂庵和尚を開眼させた隠れた書の大家。京都にはまだまだ知られざる名人がいるのです。これら四寺はいずれ劣らぬ浄土の名刹。是非自ら足を運び、その閑静高雅な寺風に触れてみて下さい。

京の「四谷」。実は「よつや」ではなく「よんたに」と呼んで、四つの谷を指しそれぞれに素晴らしい浄土空寺院があるのです。

まず「古知谷」。ここには幽邃な環境と壮絶な開山の伝説を伝える「阿弥陀寺」があります。大原の北側、「鯖街道」沿いに風雅な童宮門が高台の浄域へと誘います。そしてここにはなんと、開山彈誓上人

の美女に世話をさせた著名な灯籠堂に由来します。最後は「泉谷」。ここには三条のどん王さんはじめ各所にゆかりを持つ快僧袋中上人の開山になる西寿寺があります。鳴滝・福王子神社を北へ。俵屋宗達の風神、雷神凶誕生の地妙光寺と、尾形乾山ゆかりの法蔵禅寺との間が泉谷。創建こそ寛永年間と新しいけれど、境内は清潔にして閑寂、市内を見晴るかす眺望は絶景で、かつては本堂に端然とした丈六阿弥陀の大座像がおられました。

（京都学園大学非常勤准教授堤勇二）



古知谷阿弥陀寺山門



鹿ヶ谷法然院山門



小松谷正林寺山門



泉谷西寿寺本堂

馬町通の坂を上ったところ。灯籠大臣と呼ばれた平重盛ゆかりの正林寺があります。通称の所以は重盛がここに十二間四方のお堂を建て、中に四十八躰の阿弥陀仏を四十八基の灯籠で照らし、四十八人

の美女に世話をさせた著名な灯籠堂に由来します。

ここにあり人物の墓があります。その名は桑原空洞居士。かつて木下長嘯子、石川丈山と並ぶ隠遁者として知られ、良寛、慈雲とともに近代僧侶の三筆と謳われた岡山の寂庵和尚を開眼させた隠れた書の大家。京都にはまだまだ知られざる名人がいるのです。これら四寺はいずれ劣らぬ浄土の名刹。是非自ら足を運び、その閑静高雅な寺風に触れてみて下さい。

（京都学園大学非常勤准教授堤勇二）